

**冷暖房の同時運転ができるビル用マルチエアコンで業界最大容量^(※1)の
54馬力相当までラインアップした「FLEXMULTI(フレックスマルチ)」と
省エネ運転を管理・サポートする空調管理システム「セントラルステーション適温適所」を発売**

日立アプライアンス株式会社(取締役社長:石津 尚澄)は、冷房と暖房の同時運転が行えるタイプとしては、業界最大容量となる 54 馬力相当をラインアップしたビル用マルチエアコン「FLEXMULTI」全 24 機種を 2010 年 4 月以降順次発売します。オフィスビルなどでは、フロアの窓側と廊下側、あるいは区切られたスペース毎に冷房と暖房を同時に行うケースや、省コスト・省スペースを図るために大容量の室外ユニットを採用する事例が増えていることに対応したものです。

さらに今回、「FLEXMULTI」をはじめ、オフィスビルや学校、病院などの中、大規模施設に設置されたビル用マルチエアコンに接続し、一括管理できる空調管理システム「セントラルステーション適温適所」2 システムを 2010 年 4 月中旬より順次発売します。

■型名および出荷時期

	型名 (相当馬力/機種数)		価格 (税抜き)	出荷開始時期
FLEXMULTI (フレックスマルチ)	224 型~1500 型 (8~54 馬力/24 機種)		オープン価格	4 月以降順次
セントラルステーション 適温適所 DX ^(※2)	管理アダプター	PSC-A128WX	400,000	4 月より受注開始
	管理ソフト	PSC-AS2048WXB	230,000	
	料金按分ソフト	PSC-AS2048WXC	550,000	
セントラルステーション 適温適所 E Z ^(※3)	本体 (表示部/制御部/電源部)	PSC-A64GT	259,000	4 月中旬

■新製品の主な特長

1.ビル用マルチエアコン「FLEXMULTI(フレックスマルチ)」

(1)冷暖房が同時運転できるタイプとして、業界最大容量の 54 馬力相当までをラインアップ

8・10・12・14・16・18 馬力の組み合わせ可能な室外ユニットを開発しました。これら 6 機種を組み合わせることで、冷暖房の同時運転が行えるタイプでは業界最大容量となる 54 馬力までをラインアップしました。また、本シリーズでは、従来のラインアップにはなかった 12・14・28 馬力を投入することにより、2 馬力ごとのきめ細やかな容量選択を可能としています。

(2)空調管理システムから設定できる「セルフデマンド機能」を搭載

室外ユニットの消費電力が設定値を超えると自動的にカットする「セルフデマンド機能」を従来に引き続き搭載しています。さらに、これまで室外ユニット毎に設定していた「セルフデマンド機能」を、空調管理システム「セントラルステーション適温適所 DX」からの一括設定も可能としたことで、設定作業の省力化

を実現します。

(3) 室外ユニットの共用化により、導入時の機器配置設計作業を省力化

冷暖房の同時運転が行えるシステム^(*4)でも、冷房と暖房を切換えて運転するシステム^(*5)でも、共通の室外ユニットが使用できます。機器配置設計時における検討作業を省力化するとともに、現地での施工作業の負担も軽減できます。

2. 空調管理システム「セントラルステーション適温適所 DX」

(1) 専用パソコンによる室外ユニットの機能選択や制御内容の設定・変更が可能に^(*6)

室外ユニット毎に内部の基板スイッチなどを操作して各種機能の選択や変更を行う従来からの方法に加え、専用パソコンからの個別設定や一括設定を可能としたことにより、現地作業の省力化が図れます。

本システムは、室内ユニット最大 2,560 台を一括管理できるため、オフィスビルや学校、病院などの中、大規模施設における空調管理を効率的に行えます。

(2) 使用電力量等の「見える化」により、空調機の省エネ運転をサポート

使用電力量^(*7)や運転時間等を時系列でグラフ表示し、空調機の使用状態を「見える化」します。データはグラフ化できる他、ファイル出力して表計算ソフトによる編集・分析を行うことで、暖め過ぎや冷やし過ぎ、機器の消し忘れといった運転状況の把握なども容易になり、省エネ運転の管理などに役立てることが可能です。

なお、中規模施設向け空調管理システムとしては、8.5 インチカラー液晶とタッチパネルによる簡単操作により、最大 160 台の室内ユニットを一括管理できる「セントラルステーション適温適所 EZ」を用意しています。

(*1) 2010 年 2 月 9 日現在

(*2) 室内ユニットの最大管理台数: 2,560 台 [管理アダプター 16 台接続時]

(*3) 室内ユニットの最大管理台数: 160 台

(*4) 室外ユニット、室内ユニット、冷暖切換えユニットの組み合わせ

(*5) 室外ユニット、室内ユニットの組み合わせ

(*6) 対象となる室外ユニットは、「FLEXMULTI(フレックスマルチ)」です。

(*7) 使用電力量の表示には「管理アダプター+管理ソフト」の他に「料金按分ソフト」が必要です。また、運転時間の積算値は、「管理アダプター+管理ソフト」で表示できます。

■ 需要動向および開発背景

パッケージエアコンによる空調システムを導入するにあたっては、オフィスビルなどでは 1 年を通じて冷房運転を行うスペースと、季節により冷房と暖房を切換えて運転するスペースが混在するため、冷房と暖房の同時運転に対応できる空調機器へのニーズが高まっています。また省コスト・省スペース化を図るために、複数の小容量の室外ユニットをまとめて大容量の室外ユニットを採用するケースが増えています。さらに、環境配慮への観点から、暖め過ぎや冷やし過ぎ、機器の消し忘れといった

空調機の運転状況や使用実態などを容易に把握できる空調管理システムが求められています。

そこで当社は、こうした様々なニーズに対応するため新たなビル用マルチエアコンを開発しました。さらに、使用電力量や積算運転時間をグラフ化し、使用実態を「見える化」することで省エネ運転をサポートし、必要なスペースを適切な温度に制御できる空調管理システムを開発しました。

■取扱事業部・照会先

日立アプライアンス株式会社 空調事業部 空調営業本部 商品企画部

〔担当:北條(ビル用マルチエアコン)、矢田(空調管理システム)〕

〒105-0022 東京都港区海岸一丁目 16 番1号(ニューピア竹芝サウスタワー)

電話 03-6403-4502(ダイヤルイン)

以上

(添付資料)

■ビル用マルチエアコン「FLEXMULTI(フレックスマルチ)」の詳細説明

(1)冷暖房が同時運転できるタイプとして、業界最大容量^(*1)の54馬力相当までをラインアップ

組み合わせ可能なモジュールタイプ(8・10・12・14・16・18馬力)の室外ユニットを開発しました。これら6機種を組み合わせることで、冷暖房の同時運転が行えるタイプでは業界最大容量となる54馬力までラインアップしました。また、本シリーズでは、従来のラインアップにはなかった12・14・28馬力の3機種を投入することにより、システム的设计時に2馬力ごとのきめ細かな容量の選択を可能としました。

(2)空調管理システムから設定できる「セルフデマンド機能」を搭載

室外ユニットの消費電力が設定値を超えると自動的にカットする「セルフデマンド機能」を従来に引き続き搭載しています。さらに、これまで室外ユニット毎に設定していた「セルフデマンド機能」を、空調管理システム「セントラルステーション適温適所DX」から一括で設定できるため、現地作業の省力化を実現できます。

(3)室外ユニットの共用化により、導入時における機器の配置設計の検討作業を省力化

冷暖房の同時運転が行えるシステムでも、冷房と暖房を切り替えて運転するシステムでも、共通の室外ユニットが使用できます。機器配置設計時における検討作業を省力化するとともに、現地での施工作業の負担も軽減できます。

室内ユニットは、54馬力相当システムにおいて最大64台まで接続可能としました。これにより、室内ユニット接続台数が多い建物などへの導入が容易になりました。また、室外ユニットに搭載するアクティブフィルターや交流リアクトル(ACL)をオプション品で準備しました。高調波を抑制することにより、電源設備などの異常動作の低減を図ります。これらのオプション品は、従来は室外ユニットの側面に据付けていましたが、今回開発した室外ユニットでは内蔵できることから連続設置が可能となり、設置場所の省スペース化を実現しています。

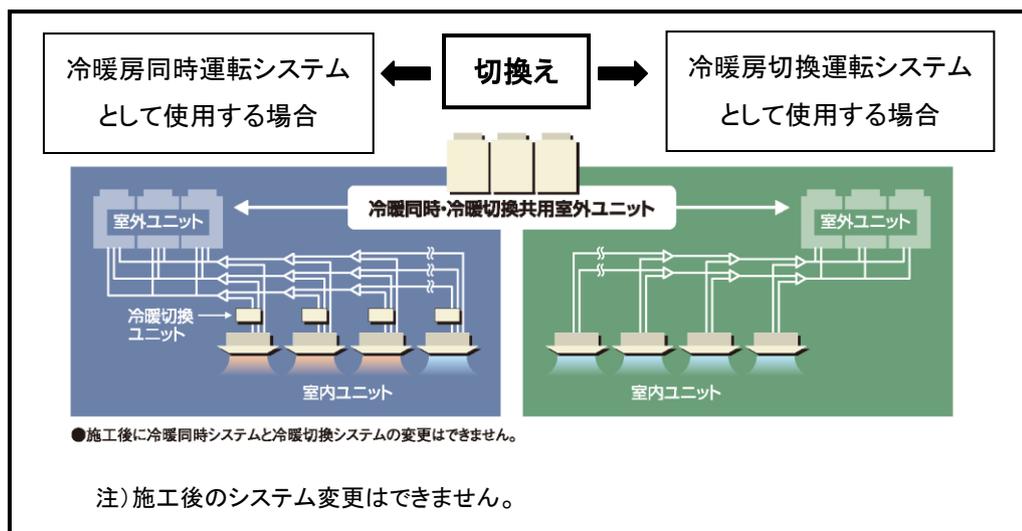


図1. 冷暖房同時運転システムと冷暖房切替運転システムの室外ユニット共用構成図

(*1)2010年2月9日現在

■空調管理システム「セントラルステーション適温適所」の詳細説明

1. 「セントラルステーション適温適所 DX」

(1) 専用パソコンによる室外ユニットの機能選択や制御内容の設定・変更が可能に(*2)

従来、「室外ユニットの能力制御」や「運転音低減制御」などの運転制御機能の選択や変更は、室外ユニット内の基板にあるディップスイッチ、プッシュスイッチなどで設定していました。本システムでは専用パソコンからの一括設定も可能としたため、設定作業の省力化や管理効率の向上が図れます。

また、本システムからスケジュール登録することにより、「室外ユニットの能力制御」機能によって、抑制したい時間帯の使用電力量を抑えることが可能になります。「運転音低減制御」機能は、指定された時間帯で室外ユニットの運転音を低減することが可能となり、法令などにより夜間の騒音制限がある地域での空調機の運用管理を容易にします。

なお、本システムは、室内ユニット最大 2,560 台(*3)を一括管理できるため、中、大規模施設における空調管理を効率的に実施できます。

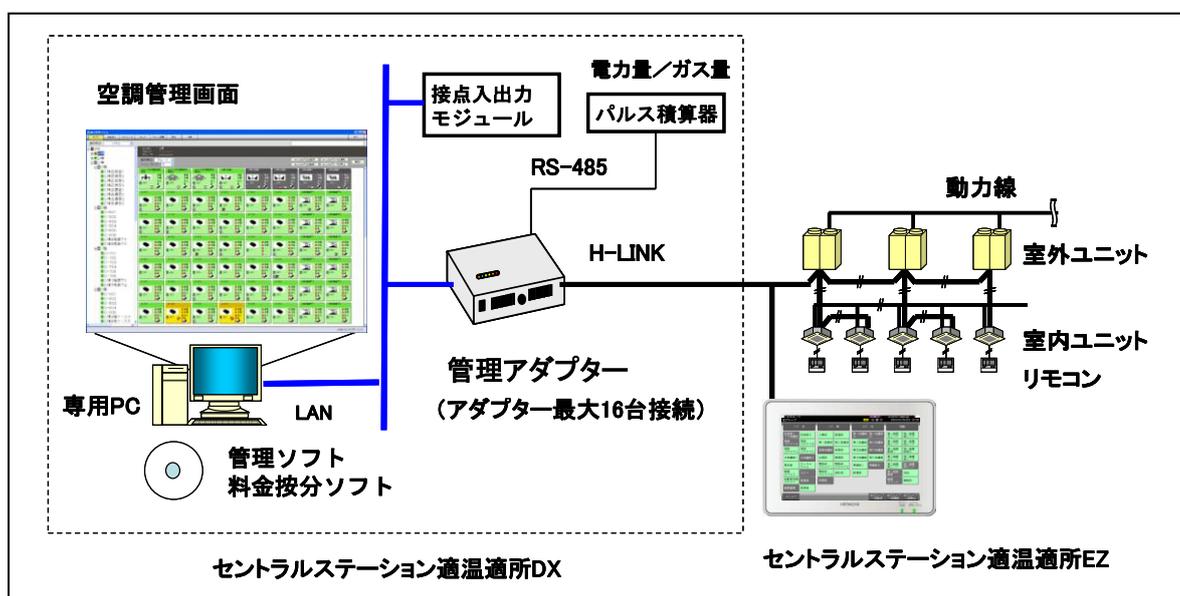
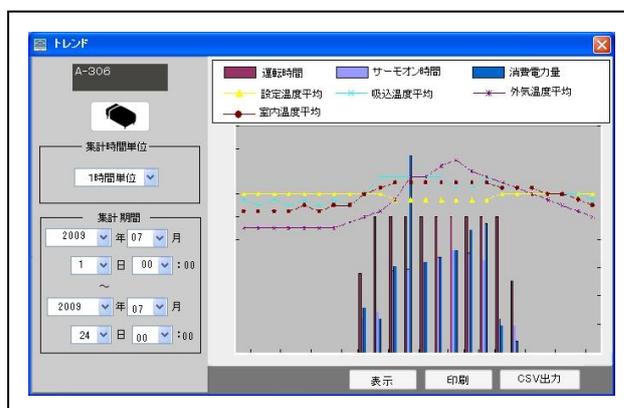


図2. システム構成

(2) 使用電力量等の「見える化」により、空調機の省エネ運転をサポート

個別の空調機やフロア単位など、管理者の希望する形態に応じて、使用電力量(*4)や運転時間等を時系列でグラフ表示し、空調機の使用状態を「見える化」します。データはグラフ化できる他、ファイル出力して表計算ソフトによる編集・分析を行うことで、暖め過ぎや冷やし過ぎ、機器の消し忘れといった運転状況の把握なども容易になり、省エネ運転の管理などに役立てることが可能です。



(3)空調機の配置状況が一目でわかる「レイアウト表示機能」により、大規模システムの監視・制御を容易に

フロア内の空調機の設置位置を平面図や鳥瞰図で表示できる機能を標準搭載(*5)しました。
 実際の配置状況と同様にレイアウト表示できるため各エリア内空調機の運転状態が確認しやすく、適切な温度の設定と維持が可能になります。

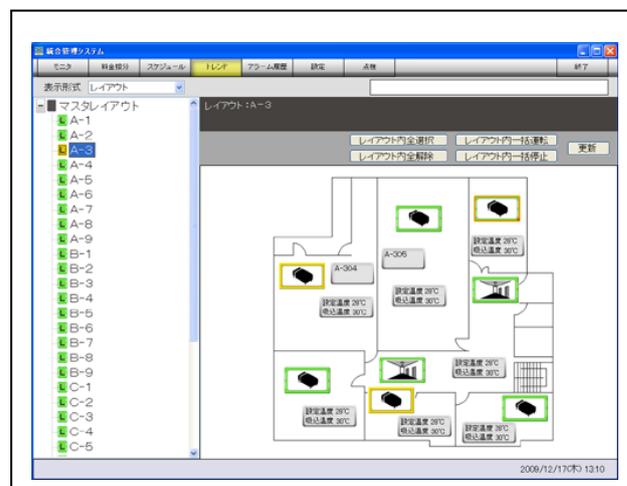


図4. 空調機のレイアウト画面

- (*2) 「機能選択、能力制御、運転音低減制御」の対応室外ユニットは「FLEXMULTI(フレックスマルチ)」です。その従来製品は「能力制御」のみ対応となります。
- (*3) 室内ユニットの最大管理台数:2,560 台[管理アダプター16 台接続時]
- (*4) 使用電力量の表示には「管理アダプター+管理ソフト」の他に「料金按分ソフト」が必要です。また、運転時間の積算値は、「管理アダプター+管理ソフト」で表示できます。
- (*5) 従来製品は、オプション対応となります。

2. 「セントラルステーション適温適所EZ」

(1) 8.5 インチのカラー液晶タッチパネルを採用し、見やすさと操作性を向上

本機の操作・表示部に 8.5 インチのカラー液晶タッチパネルを採用しました。当社従来品(*6)と比較して、文字サイズを大きくすることで画面の表示内容を見やすくし、操作性の向上を図りました。また、アイコンの色を変えることで空調機の運転状況を表現するため、各機器の状態が容易に把握できます。

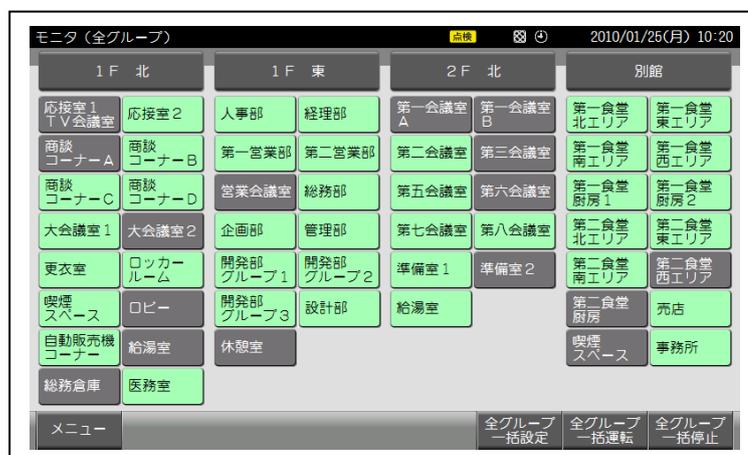


図5. タッチパネル画面

(2)週間スケジュール機能、運転時間の「見える化」で省エネ運転をサポート

「セントラルステーション適温適所 DX」と同様に、週間スケジュール機能で細やかな空調管理が行えます。空調機の運転・停止など、1日に10回^(*)7)まで任意の時間帯でのスケジュール設定ができます。また、リモコングループ毎に運転時間の積算値を月単位で表示することで、使用実態を「見える化」して把握しやすくし、省エネ運転の管理・運用に役立てることができます。

本システムは、最大 160 台の室内ユニットを一括管理できるため、中規模施設における空調管理を効率的に実施できます。



図6. スケジュール設定画面(左)と運転時間の積算値表示(右)

(*)6) 従来製品:セントラルステーション(型名:PSC-A64S1)、3インチ液晶、白黒画面

(*)7) 「セントラルステーション適温適所 DX」は、1日16回まで設定可能

■ビル用マルチエアコン「FLEXMULTI(フレックスマルチ)」の主な仕様

呼称	相当馬力	型式	冷房能力(kW)	暖房能力(kW)	外形寸法(mm)			製品質量(kg)
					幅	奥行き	高さ	
224型	8	RAS-AP224DS	22.4	25.0	950	765	1,720	205
280型	10	RAS-AP280DS	28.0	31.5				205
335型	12	RAS-AP335DS	33.5	37.5				205
400型	14	RAS-AP400DS	40.0	45.0	1,210	765	1,720	280
450型	16	RAS-AP450DS	45.0	50.0				280
500型	18	RAS-AP500DS	50.0	56.0				300

注)8馬力から18馬力までの6機種を組合せることにより、最大54馬力までラインアップします。

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
